平成２４年１０月１日

TACMINA

ソレノイド駆動式ダイヤフラム定量ポンプ「ＰＷシリーズ」グッドデザイン賞受賞

GOOD DESIGN AWARD 2012

PW

株式会社タクミナ（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：山田信彦）の『ソレノイド駆動式ダイヤフラム定量ポンプ　PW シリーズ』が、２０１２年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。この度の受賞は、「水の安全」を守る目的で使用される当製品に求められる確実性・安全性と使いやすさを追求する姿勢を評価いただきました。

PW シリーズは、表示・ボタン・ボリュームがシンプルで感覚的に操作でき、高照度 LED 表示で、暗い場所でも見やすく誰でも簡単に使えます。省エネ性にも考慮し、自動的に電力をカットする ECO モードにより、消費電力を最大約 55%カット（弊社従来機との比較）できるなど、ユーザーや環境にやさしい設計になっています。プール・水道の殺菌・排水処理など、国内外の幅広い用途で利用されています。

PWシリーズの次亜塩素酸ナトリウム注入専用機は、特許取得の新機構を搭載し、次亜塩素酸ナトリウムの注入不良を解消します。次亜塩素酸ナトリウムは分解しやすい薬剤でガスを発生しやすく、ダイヤフラムポンプを使用しているとガスロックにより注入できなくなることがあります。気泡の混入を防ぐエアブロック機構と気泡が混入しても確実に排除するインライン式自動エア抜き機構（特許取得）により、注入不良の問題を解決しました。